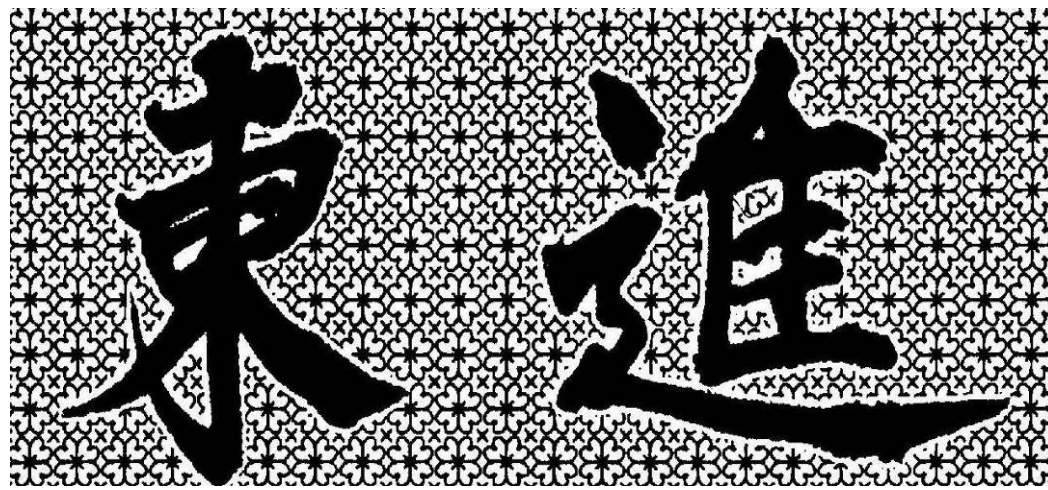


**第42号**

平成23年  
10月1日

**題字**

植木 満  
初代東進会会長

**発行所**

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高  
進修同窓会東京支部〕

**発行人**

東進会会長 大野 金一



霞ヶ浦総合公園（提供：土浦市市長公室広報広聴課）

**■講演**

自身のリーダーシップの高め方  
次世代リーダーの育て方  
～コーチ型リーダーシップについて  
株式会社コーチ・エイ  
五十嵐 朝青（平成6年卒）

**■半了のささやき（連載第12回）**

◇ 旅のすゝめ ◇

高山寺 半了（昭和41年卒）

**■平成23年度総会・懇親会風景**

土浦一高 吹奏楽部の演奏

土浦一高 応援指導部の演技

日本剣道形 演武

打太刀 福田 成志（昭和44年卒）教士七段

仕太刀 助川 博夫（昭和44年卒）錬士六段

**■総会・懇親会出席者名簿**

ー当日写真を撮らせていただいた方ー

平成23年度 総会・懇親会が盛大に開催されました。  
 6月11日(土) 学士会館



土浦一高 吹奏学部の皆さんによる演奏で開幕



土浦一高 応援指導部の演技



来賓ご挨拶  
進修同窓会副会長  
山田 隆士 先生



来賓ご挨拶  
茨城県東京事務所所長  
大森 一孝 様



来賓ご挨拶  
土浦第一高等学校校長  
武井 秀一 先生



開会挨拶  
東進会会長 大野 金一



日本剣道形 演武

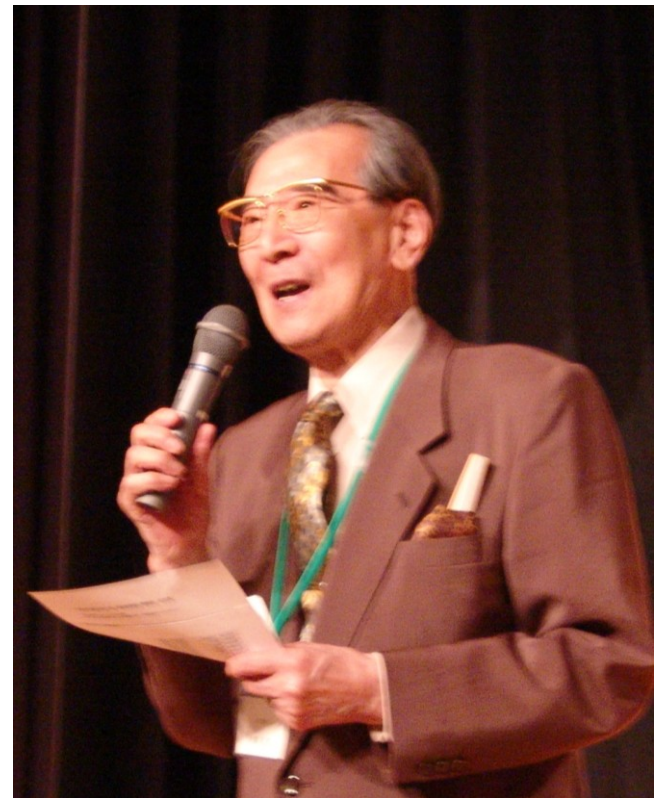
手前 打太刀 福田成志さん 教士七段 (昭和44年卒)  
 奥 仕太刀 助川博夫さん 錬士六段 (昭和44年卒)



講演 五十嵐 朝青さん (平成6年卒)



昨年度に引き続き、本年度も片岡弘安さんの発声で カンパニー



乾杯の挨拶  
片岡 弘安さん (昭和16年 中卒)



恒例 応援指導部のリードで校歌斉唱



東進会へようこそ 初めて参加された皆さま

准会員

来賓



大津 一郎(昭20)



片岡 弘安(昭16)



進修同窓会副会長  
山田 隆士 様



土浦一高 校長  
武井 秀一 様



茨城県東京事務所  
所長 大森一孝様



木島 幸夫(昭24)



渡邊 光夫(昭20)



山口 進(昭20)



高野 孝(昭20)



酒寄 和郎(昭20)



狩谷 孝雄(昭20)



大塚 保(昭20)



菊地 清(昭31)



大野 金一(昭31)



色川 嘉一(昭31)



西川恵美子(昭29)



砂川 憲二(昭28)



坪井 洋(昭27)



砂山 嘉幸(昭24)



水越 勝雄(昭31)



蓮 幸治(昭31)



沼尻 正信(昭31)



中村 信秀(昭31)



中島 進(昭31)



田崎 秀男(昭31)



五頭 隆治(昭31)



坂入 忠(昭36)



貝塚 國光(昭36)



沼里 征二(昭33)



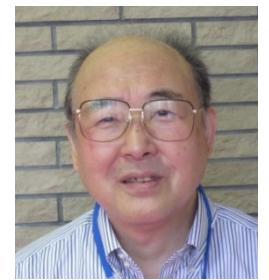
關井 康雄(昭33)



渡辺 隆(昭31)



山田 晴康(昭31)



武藤 明(昭31)



久保内総子(昭39)



野村 ルナ(昭38)



高野 忠(昭38)



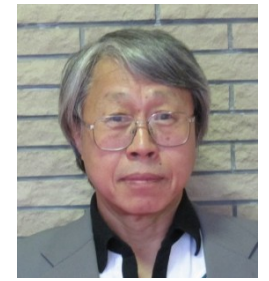
刘込 慎二(昭38)



林 幸子(昭37)



北川 正之(昭37)



若山 宏(昭36)



今泉 房子(昭41)



飯塚 泰助(昭41)



相澤 興二(昭41)



廣瀬 巳良(昭40)



伊藤 勝(昭40)



山田 忠敬(昭39)



鈴木 達(昭39)



葉梨 健次(昭41)



初田 正雄(昭41)



野口 卓男(昭41)



仁平 典子(昭41)



長戸 琴(昭41)



中島 徹(昭41)



甲田 三重(昭41)



鈴木 厚(昭43)



木村 繁夫(昭43)



山村 章(昭41)



山岡 憲(昭41)



安井 恵子(昭41)



宮本 英尚(昭41)



久松 信明(昭41)



岡崎 孝宣(昭44)



阿見寺俊洋(昭44)



渡辺 孝男(昭43)



渡邊 慎一(昭43)



柳沢 成二(昭43)



宮崎 好廣(昭43)



幕内 邦夫(昭43)



井野万里子(昭45)



渡辺 良治(昭44)



福田 成志(昭44)



永井 博(昭44)



東郷 達男(昭44)



助川 博夫(昭44)



逆井 誠(昭44)



吉田 正史(昭48)



柴原 至(昭48)



櫻井 克信(昭48)



君山 利男(昭48)



長島 修照(昭47)



小野 幹夫(昭46)



鈴木 良治(昭45)



柏瀬 孝子(昭57)



酒井 学雄(昭56)



櫻井成一郎(昭55)



星川美代子(昭50)



藤田加奈子(昭50)



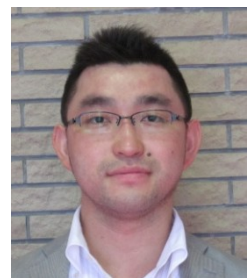
小野村敏之(昭50)



内田 敬子(昭50)



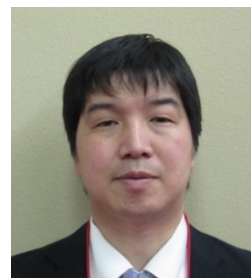
林 綾子(平6)



羽崎 友康(平6)



白鳥 玲子(平6)



大塚 淳(平6)



五十嵐朝青(平6)



伊東 明彦(平5)



小池 康一(平4)



五十嵐立青(平9)



青山 大人(平9)



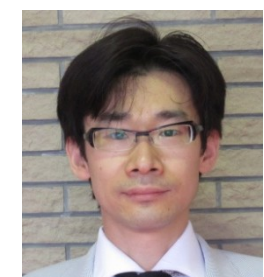
緒方 浩一(平7)



渡辺 理恵(平6)



村上 章人(平6)



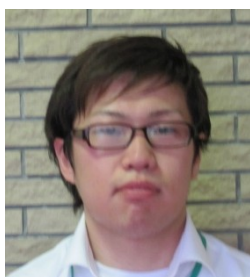
本田 哲史(平6)



菱沼 邦夫(平6)



富岡 宏隆(平21)



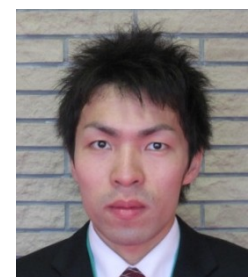
鬼澤 寛樹(平21)



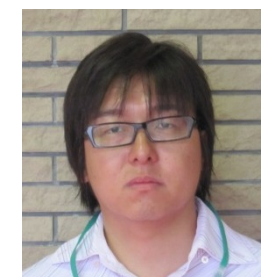
横田 真吾(平19)



中島 克典(平19)



熊倉 賢司(平18)



森下 真生(平9)



福山 浩平(平9)

# 自身のリーダーシップの高め方 次世代リーダーの育て方

## ■ コーチ型リーダーシップのヒント ■

五十嵐 朝青 (平成六年卒)

本日は、多くの大変立派な先輩たちの前で、お話をさせていただくことになり、大変恐縮ではありますが、同時に大変光栄なことでもございますので、何かひとつでも、皆様の役に立つお話が出来ましたら幸いです。

私はつくば市の並木中学を卒業して、一九九〇年に一高に入学いたしました。特別に成績がよかったわけでもなく、常光寺先生の倫理では0点を取ったこともありまして、高橋先生の日本史では学年ビリの点数を取り、先生にお呼び出しいただいたこともありました。

本日はリーダーシップをテーマにお話させていただきませんが、リーダーシップというとかくオバマ大統領のような複数の人たちを引っ張っていく印象をもたれがちですが、経営学者のラム・チャランも言っているように、実は一人ひとりも自身の人生のリーダーであり、自分の人生の舵取りは、自分以外誰もしてくれません。

私自身は縁あって、コーチングという一つの人材開発の手法を使いながら、組織のメンバーが個々の強みを発揮して、組織を強くしていく、ということのお手伝いをしております。名前を言っていないところで、日産自動車さんはゴーンさん自らが自分はコー

チであると言っていて、社内のコミュニケーション活性化のリーダーとなり、V字回復を成し遂げました。

今日はコーチングというものの概要と、その中でも皆さんがすぐに日常でも活かせるようなものをいくつかご紹介して、この東進会がより発展するためにもお役に立てればと思っております。

コーチングの必要性が高まった背景のうち大きなものの一つに、変化が激しくなってきた中で、なかなか今までのやり方ではうまく行かなくなっている、ということがあげられます。高度経済成長の時代は上司や先輩の言うとおりにやっていた

でも彼らの言うことを聞いていただけではダメかも知れない、という思いの中で、自ら考えて創造的に仕事をする必要が出てきました。

コーチングとは、概念的には指示命令の対極を行くアプローチになります。簡単に言えば、「問いかけ」で「聞く」アプローチです。

問いかけると何がよいのでしょうか。こんなデータがあります。次ページの図をご覧ください。同じ行動を取ることを選択した場合でも、他人からやれと言われてやる場合と、自分がそのアイデアを出してやる場合とでは後者の方が二・六倍もその行動の実行確率が高く、責任を取ることが分かっています。

それはなぜでしょうか。

人は基本的には自分にしか従わないからです。人は今日のこの瞬間まで、自分の選択の連続によって、少なくとも生存してきました。人間も生物として「いかに生存確率を高めるか」という大命題を持っています。ですので、他人の意見や新しい情報に関しては、脳は一旦エラーとして捉えて、スクリーニングをします。人から言われてその場では「はい、やります!」「それ、すばらしいですね!」と言ったところで、心の中では「そんなこと分かってるよ」「それが上手いくならとっくにやってるよ」「もうそんな時代じゃないんだけど」という抵抗が起こるのです。

ですから問いかけて、相手の内側にあるものを引き出して、それを実行してもらうことが行動の実行確率を上げることにつながり、リーダーにとっても、良質な問い

また麒麟麦酒さんも全社員三五〇〇名のうちの一角が社内コーチングが出来るリーダーになるというプロジェクトの下、毎年一〇〇名以上の社内コーチを育成して、長期での人材開発に取り組んでいます。

ばうまくいって会社の業績も上がり、役職も給料も少しづつ上がっていたのですが、現在はまさかつぶれるはずがないと思っていた会社が倒産したり、M&Aという形で合併したりと、上司や先輩、経営陣ですら、方向性を示しにくく、また部下にとつ

かけが出来ることが、大変重要な資質となってくるのです。

リッツカールトンの前の社長の高野さんとお食事する機会があったので聞いてみました。リッツカールトンは世界一のサービスで有名ですけど、いったいどんな研修をなさってるんですか？と。すると高野さんは次のようなことを教えてくださいました。研修では何十人が集まったところで「みんなどんなサービスをお客様に喜んでいただきたいですか？」と問いかけます。一人ひとりが「はい！こっそり誕生日を聞いておいてサプライズでお祝いしたいです！」などなど一時間くらいでたくさんアイデアが出てきます。そこで高野さんはおっしゃるらしいのです。「今日の研修はここまで！」

私は驚いて、何も教えてないじゃないですか！？と言うと、高野さんは笑顔でおっしゃいました。

それがいいんです。どんなサービスをしたいかと一人ひとりが考えて、やってみたり、と思った瞬間からサービスはもう始まっているんです。上から押し付けられたサービスでは自分の気持ちが入りませんし、本当に日々お客様に接しているのは彼らですから。

今日は特に問いかけについて掘り下げてお話ししたいと思います。私たちは放っておくと「批判者の質問」を投げかけることが多くなります。

- ・なんで自分ばかり、こんな目に会うんだろうか。
- ・こんな不景気なのにどうすればいいの
- ・どうしてこんなメンバーと仕事をしな

- ・ ければいけないのか。
- ・ なんて誰も自分のことを分かってくれないのか。
- ・ 自分の人生このままでもいいんだろうか。

これらの質問が事態を改善することはほとんどありません。それに対して「学習者の質問」は可能性に焦点を当て、エネルギーを上げます。

- ・ この件で役に立つことは何だろうか。
- ・ この経験を通して、自分が学んだことは何だろうか。
- ・ 次回はどうかやればもっとうまく出来るだろうか。
- ・ 今出来る最善の選択は何だろうか。
- ・ このことは三年後の自分にとってどんな意味があるのだろうか。

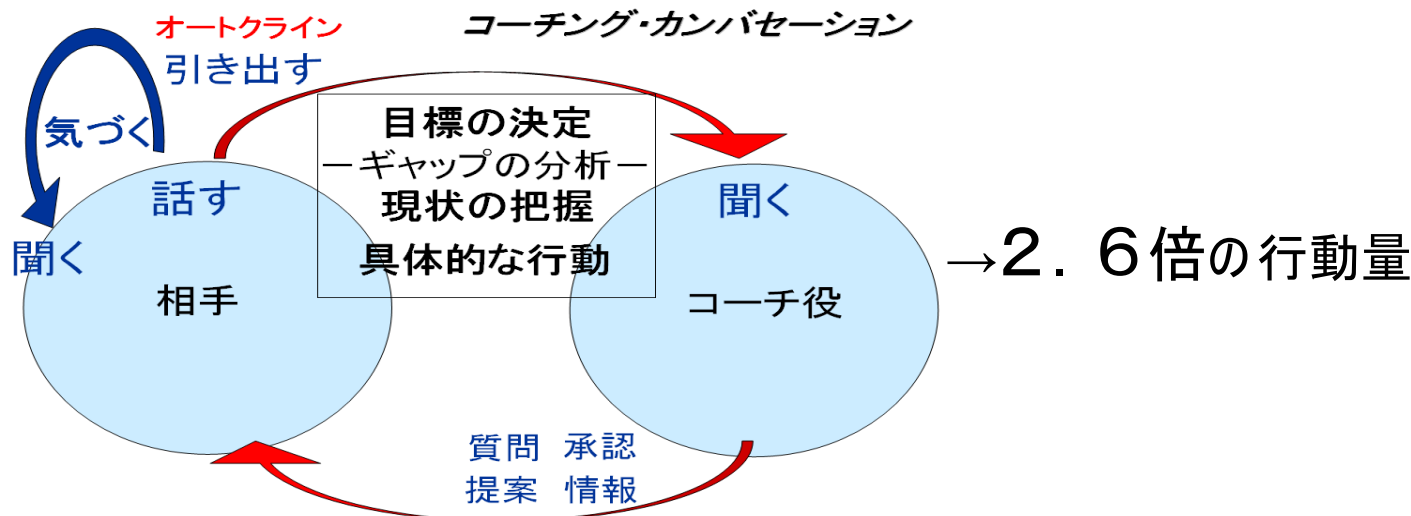
思考は問われた質問とそれに対する答として起こります。質問をマネジメントすることで、思考をマネジメント出来るようになります。コーチは良質な質問を提供してクライアントに良質な思考を起こしてもらうのが仕事です。

最後に、この東進会がますます発展するために役立つかも知れない問いをいくつか書いて終わりにしたいと思います。是非同窓会のメンバーと集まるときに、お互いに問いかけあってみてください。

- ・ 東進会から自分が得ていることは何だろうか。
- ・ 自分は東進会にどんな貢献が出来るだろうか。
- ・ 誰を誘うともっと自分が会を楽しめるだろうか。

### なぜコーチ型リーダーは相手の自発性を高めるのか？

コーチングは相手の目標達成のためにあります。  
 相手に話させ、それを相手が聞く。それがコーチング・カンバセーションです。  
 このサイクルを繰り返すことで、相手は自分で話しながら考えが整理、咀嚼されアイデアがひらめいたり、活用されていないリソースに気づきます。  
 これをコーチングでは、「オートクライン」と呼びます。  
 コーチの仕事は教えるのではなく、相手にオートクラインを起こさせることです。  
 指示命令とオートクラインを比べると約2.6倍のコミットメントの違いがあることが分かっています。



- ・ どの先輩と親しくなれるとうれしいか。
  - ・ どの先輩に期待するのか。
- ご清聴ありがとうございました。

東進会のますますの発展を願いまして、締めさせていただきます。

いがらし あさお  
 株式会社コーチ・エイ

## 連載第12回

## 半了のちよき

## ◇旅のすゝめ◇

高山寺 半了(昭和41年卒)

3月11日の東日本大震災から早や半年。

しかし政治は居座り空缶首相とB級グルメと揶揄される民主党首選に明け暮れ、官僚は省益のみ、被災地の復興対策は後手後手。やつとドジョウを自認する党内融和・野田新内閣ができました。この半年で海外では日本は「フクシマ」と呼ばれ、アラブ民主化の波、韓国・中国の躍進が際立ち、日本の存在感が薄くなる一方。唯一の救いは「なでしこジャパン」。日本が再び元気になる為には・・そんな観点から、今回のささやきは「旅のすゝめ」としました。

唐突ですが「ガラパゴス化」ご存知ですかね。「え〜?何の事。メタボのおじさんがゆるゆるガラパン穿きたがる事?」。面白いけど・・ちよつと違いますよ。日本の危機状況を端的に表す言葉ですね。バブル崩壊後20年、すっかり日本は内向き志向になり、世界の動向とは無関係に井の中の蛙。その典型が携帯電話。日本独自方式で激烈な国内開発競争。その結果、機能が著しく向上、薄く軽くなり携帯メール文化が定着。しかし日本独自に進化した携帯は、韓国の台頭やスマートフォン登場でついに世界から孤立。昔の姿で細々と生きている・・まるで南東太平洋上のガラパゴス諸島に生息するガラパゴスイグアナの様に。

さらに深刻なのは、かつて世界に冠たる日本の液晶テレビも今や青息吐息。逆に破竹の勢いが韓国メーカー。「液晶の次」と言われる「有機EL」今や韓国サムソン電子が世界市場の8割を握る。世界中で韓国車が急増。更に貴方も嵌っている韓流映画にK-POP。観光にグルメにとすっかり日韓逆転。その上ゴルフ界も、遼ちゃん、藍ちゃんと浮かれている間に気付くと日本での優勝は次々韓国選手。経済、文化、スポーツと広範囲での韓国の世界躍進に、貴方は気が付いていましたか?島国と半島国家の世界観・危機感の違い、そしてその結果に・・

これこそ「ガラパゴス化」。国内にいとそれほど感じない。しかし一歩海外に出ると日本製は一切無くなり韓国製か中国製。バルカン半島の片田舎でもエアコンはほとんど韓国LG製。分かり易い様に韓国を例にしましたが、IT分野はアメリカ、経済成長では中国、インド、そしてブラジルと日本の存在感は薄れる一方。「経済一流、政治は三流」と言われた日本は、今や国債の格下げ同様、経済三流、政治は四流以下、毎年変わる首相の人となりは盟友米国の高官ですら知らない状況に。

遺産も良いが、お膳立てされた旅行ではどれだけの異文化発見や、日本への危機感が得られるのだろうか。ツアーや観光旅行ではない、できれば手作りの一人旅が望ましい。自分で歩き、村や町でその土地の人々と話すことが大事。「人はなぜ旅をするのか?それは、未知のものに触れる喜びからである。新しい出会いや発見があるたびに、私は旅の良さを実感し、再び旅をしようと思う」(一橋大名誉教授・野中郁次郎)。

戦後、廃墟と化した日本を何とか復興しようとして若者は必死になった。一ドル三六〇円時代、海外渡航は大変な事であった。しかしフルブライト始め海外への留学生が多数海を渡った。しかるに昨今、海外の大学に留学する日本人が4年連続で急減し、内向き志向が一層くつきり。又、戦後の若者は未知の世界、海外への旅に憧れた。小田実の「何でも見てやろう(昭和36年)」がベストセラーになり、昭和34年から始まった人気テレビ番組「兼高かおる世界の旅」は31年間続いた。その兼高かおるは、最近の若者が留学や外国旅行への興味を失っている様子を危惧し「島国では、常に外から見なければ視野が狭くなる」と言う。

百聞は一見にしかず・・昨今はネットで何でも調べられる時代、しかし知識は増えても感動は少ない。苦勞してでも海外を旅し自分の五感でしつかり実感。感動は感じて動くを書く。それが自身のそして日本の元気になるのではないのでしょうか。

こうざんじ はんりよう

みはたち(三・二十歳)の夢を乗せて、二脚二輪でシルクロード走破に挑戦しています。

## 編集後記

五穀豊穰を祝い豊作への感謝をこめて、土浦の全国花火競技大会が第八十回を迎える。今年も大きな拍手と歓声そして花火の音が夜空に響くことだろう。その発祥は、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊と不況にあえぐ商店街復興であったという。◆両国の花火大会は、享保の大飢饉による死者の慰霊と鎮魂を目的として始まった。京都の祇園祭は、一四二年前の貞観11年の大地震・津波や悪疫流行による、鎮魂や疫病退散祈願が発祥という。仙台の七夕まつりは、一説によると天明の大飢饉を乗り切るために盛大に行われるようになり、阿波踊りも死者を供養する盆踊りが起源だという。

◆今年の土浦花火大会は、東日本大震災復興祈願と銘打たれている。犠牲となられた方々のみたまのやすからんことを願い、被災地の一日も早い復興を祈るばかりである。ふるさと納税、県産品の購入や観光など息の長い支援も心がけたいものだ。◆花火といえば、つくばみらい市に伝わる綱火をご存知だろうか。慶長年間を起源とし、四百年余の伝統を誇る火祭りだ。昭和51年に国指定重要無形民族文化財に指定され、平成20年にはサントリー地域文化賞を受賞している。空中にはりめぐらした綱に吊るされた、花火を仕掛けた人形や舟などが、笛や太鼓などのお囃子にあわせて演じる人形芝居である。毎年、高岡流綱火は8月23日、小張松下流綱火は同24日、それぞれ愛宕神社で奉納される。(初)